

麻雀を教えるとき用資料01

麻雀って
どんなゲーム？



麻雀グッズ研究所
初心者講座



麻雀とは？

- 4人で行うゲーム（全員が敵）
- 34種類136枚の牌を用いて行う
- 14枚の手牌を3,3,3,3,2の組み合わせにしたらアガリ
- 牌を一番速くアガリの形にした人が点数をもらえる
- 親が2周するまで繰り返し、最終的に点数が多い人が勝ち



麻雀グッズ研究所
初心者講座



麻雀は4人で行うゲーム

- 4人がそれぞれ25,000点を持ってスタート！
- 全員が敵！優勝を目指して戦う！



Aさん vs Bさん vs Cさん vs Dさん
群雄割拠！最後に勝ったものがえらい！



麻雀グッズ研究所
初心者講座



麻雀とは？

- 4人で行うゲーム（全員が敵）
- 34種類136枚の牌を用いて行う
- 14枚の手牌を3,3,3,3,2の組み合わせにしたらアガリ
- 牌を一番速くアガリの形にした人が点数をもらえる
- 親が2周するまで繰り返し、最終的に点数が多い人が勝ち



麻雀グッズ研究所
初心者講座

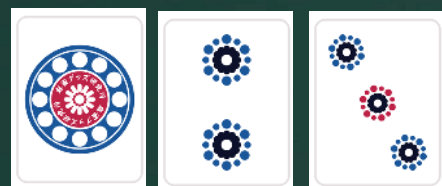


麻雀は牌を用いて行う！

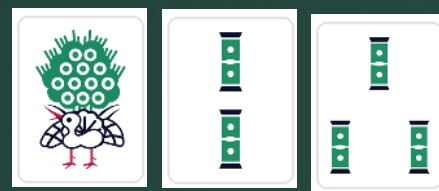
- 牌は全部で136枚を使う（34種類が各4枚ずつ）
- マンズ、ピンズ、ソウズ、字牌の4グループ
- マンズ、ピンズ、ソウズはそれぞれ1～9がある
- 字牌は数字がない



マンズ



ピンズ



ソウズ



字牌



麻雀グッズ研究所
初心者講座

麻雀は色と数で見分けよう！

	1	2	3	4	5	6	7	8	9
赤が マンズ									
緑が ソウズ									
青が ピンス									
字牌は 漢字 文字 で数字はない									

↑何も書いてないこともある。
白（はく）という



麻雀グッズ研究所
初心者講座



麻雀とは？

- 4人で行うゲーム（全員が敵）
- 34種類136枚の牌を用いて行う
- 14枚の手牌を3,3,3,3,2の組み合わせにしたらアガリ
- 牌を一番速くアガリの形にした人が点数をもらえる
- 親が2周するまで繰り返し、最終的に点数が多い人が勝ち

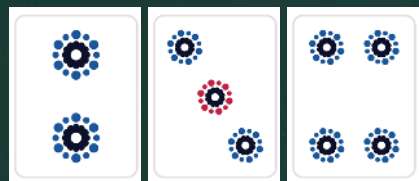


麻雀グッズ研究所
初心者講座

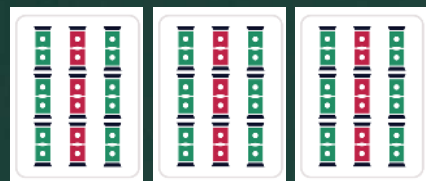


アガリの作り方 (1/3)

- 手札は14枚 (自分のターンに1枚引いて1枚切る)
- 14枚を3,3,3,2の組み合わせにしたらアガリ
- 3枚セットは同じ色の階段状、または同じ牌3枚で作る
- 2枚セットは同じ牌2枚で作る



同じ色の階段状3枚



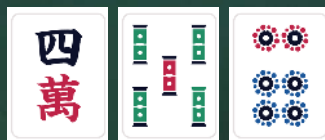
同じ牌3枚



同じ牌2枚

違う色はダメ!

字牌は階段ダメ!



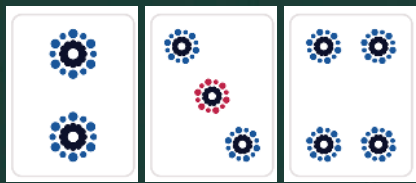
階段で1と9は
繋がらない!



麻雀グッズ研究所
初心者講座

アガリの作り方 (2/3)

- あと1枚でアガリの状態になったらリーチをかける！
- 揃ったらアガリで点数がもらえる！



3枚セット



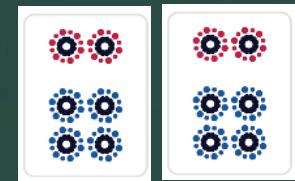
3枚セット



3枚セットが
あと1枚でできる！



3枚セット



2枚セット
(階段不可)



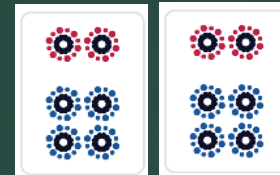
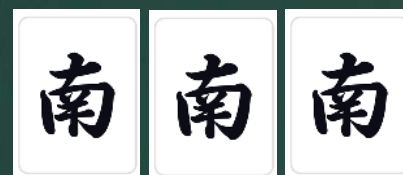
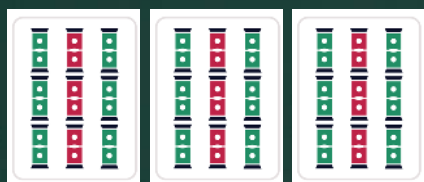
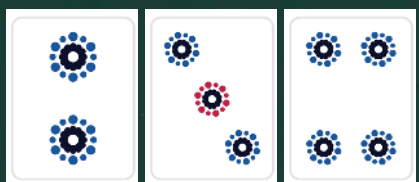
←どっちかが欲しい



麻雀グッズ研究所
初心者講座

アガリの作り方 (3/3)

- ・リーチ後、他の人から必要な牌が出た！→ロンという
- ・リーチ後、自分のターンに必要な牌を引いた！→ツモという
- ・自分のすでに捨てている牌が待ちに含まれる場合、ロンが不可



←どっちかが欲しい
・・・このどっちかを既に捨ててたらロンはできない！



役について

- ・アガリの点数は役によって決まる
- ・アガリには役が1つ以上必要
- ・40個くらいあるが、とりあえず覚えるべきは3つだけ！



麻雀

リーチ

あと1枚で上がりになったら
リーチを宣言して1,000点払う

その後、手は変えられない
鳴きNG

タンヤオ

2~8のみで手を作ると成立
1,9,字牌はだめ。鳴きOK



←だめ

役牌

字牌の白發中のいずれか、
あるいは場風か自風の字牌
を3枚集めると成立。鳴きOK



←3枚

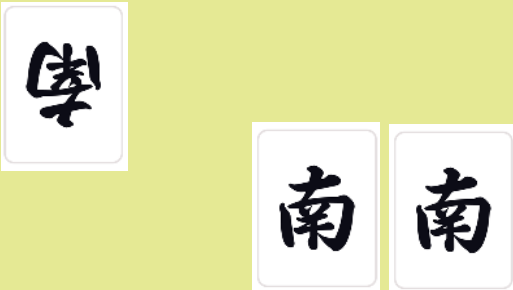
人から牌をもらう技もある（鳴きという）

- 他の人の捨てた牌をもらうこともできる
- 前の人からのみできるチー、だれからでもできるポン
- 鳴きをするとリーチができなくなる
(タンヤオや役牌を狙えない手で鳴くと詰むので注意)



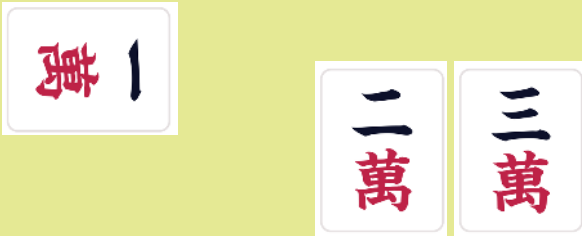
麻雀グッズ研究
初心者講座

ポン



同じ牌2枚を持ってて
誰かが捨てた3枚目をもらう

チー



階段状の2枚を持ってて
誰かが捨てた3枚目をもらう

カン



これはまだ覚えなくて良い

1回が終わったときの動き方

- 誰かの上がり、または山札が残り14枚になったら終了
- 誰かの上がりのときは、アガリの形に応じた点数を支払う
- だれも上がれなかった場合は、「流局」となる
(あと1枚で上がりだった人はちょっとだけ点数がもらえる)



1回が終

- 誰かの上が
- 誰かの上が
- だれも上が
(あと1枚)



私う

らえる)



麻雀グッズ研究所
初心者講座

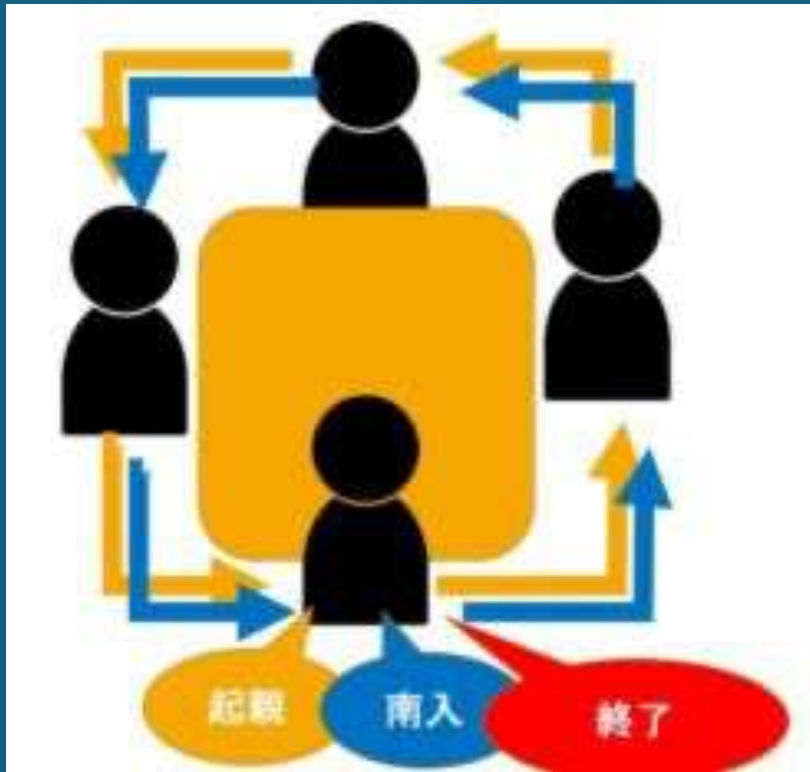
1回が終わったときの動き方

- アガリの場合、
自分のターンに引いてきた（ツモ） → みんなで割り勘
誰かが捨てた牌で上がった（ロン） → その人が1人で払う
- 流局の場合
あと1枚で上がりだった人（聴牌者）は手を開く
→ 手を開けなかった人が規定の点数（3,000点）を割り勘

→ 親が上がるか流局で聴牌なら、もう1回その親のターンが続く
親以外が上がるか、流局時に親が聴牌でなければ次の親へ。



1回が終わったときの動き方



- ・ 親は反時計回り
- ・ 2周したら終わり
- ・ 1周目を東場（とんば）
2周目を南場（なんば）
という
- ・ 親がアガリor流局聴牌
ならもう1回その人が親

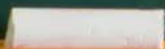


最後にテクニク的な話

- 字牌は弱いので先に切る
- 3～7の牌は強いので残す
- 23、78のような形は両方に手があるので強い
- 役牌は出たら鳴こう（まずは白、發、中）



麻雀グッズ研究所
初心者講座



では、実際にやってみよう！

まずはゲームから始めるのがおすすめ！
(準備などをコンピューターが自動でやってくれるため)



雀魂（じゃんたま）がおすすめ！



麻雀グッズ研究所
初心者講座

